

吾妻山砂防通信



第6号



荒川上流部の奇石(さざれ石)

静岡県駿河湾を震源とする地震による「土砂災害危険箇所緊急点検派遣隊」



8月11日に静岡県で震度6弱の地震が発生したことを受け、吾妻山山系砂防出張所からも郷家出張所長が8月12～15日の4日間国土交通省緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の一員として被災地に派遣されました。

TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生する恐れがある場合において、被災状況の把握や被害の拡大防止、災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

今回は国土交通省の職員72名が16班に分かれて土砂災害危険箇所に入り、今後の余震や雨で新たに土砂崩れが発生する恐れがないかどうか目で確認するなど緊急点検に当たりました。

TEC-FORCEの早急な活動は、地域住民の方々に大きな安心感をもたらすことができました。



急傾斜地の点検状況

住民への聞き取り

道路への落石状況



「お天気フェア」in四季の里 土石流模型実験を行いました！！



9月6日(日)四季の里で開催された「お天気フェア」にて土石流模型実験を行いました。

「お天気フェア」は、気象や防災に関する知識の普及を図ることなどを目的として福島气象台により毎年開催されているものです。

遊びに来た子供達からお年寄りまで多くの皆さんに、土石流の恐ろしさと土石流災害を防ぐ砂防えん堤の効果を実感していただきました。

福島市立信陵中学校2年生4名が体験活動を行いました！！

地域に学ぶ中学生体験活動

9月7日から11日までの5日間、福島市立信陵中学校2年生4名が福島河川国道事務所で体験活動を行いました。吾妻山山系砂防出張所では8日に松川庁舎で、10日に本庁舎で体験活動が行われました。

松川庁舎ではDVDや土石流模型実験を通して「砂防」について学習した後、姥湯床固工事現場を見学しました。午後は松川遊砂地や湧水公園で簡易水質調査キットを使用して水質調査にチャレンジしました。

10日は、荒川資料室で荒川の砂防の歴史を学び、水防林や旧霞堤といった身近にある先人の水防の知恵を実感したようです。また、登録有形文化財である地蔵原堰堤や全国でも例の少ない大暗渠を備えた荒川遊砂地ではその迫力にびっくり！土湯温泉町ではすっかり観光スポットとなった東鴉川第1・2砂防ダムを見学しました。午後は塩の川第6砂防ダム工事現場で堤体に登ったり測量にも挑戦したりと盛りだくさんの内容になりました。

この5日間で、砂防だけではなく国土交通省の業務の一端を感じてもらえたのではないのでしょうか。

吾妻山山系砂防出張所 体験活動日程

9月8日(火)松川庁舎

1. 松川庁舎へ集合
2. 「砂防について」(DVD・土石流模型実験)
3. 姥湯床固工事現場見学
4. 昼食
5. 松川へ(遊砂地・湧水公園で簡易水質調査など)
6. 松川庁舎にて解散



土石流災害の恐ろしさを体験

姥湯は山肌が荒廃しているから砂防施設が必要なんだよ。



水質調査の結果はどうだったかな！？

9月10日(木)本庁舎

1. 松川庁舎へ集合
2. 荒川資料室着・見学
3. 水防林→旧霞堤→地蔵原えん堤→荒川遊砂地見学
4. 土湯温泉町へ東鴉川第1・2砂防ダム見学
5. 昼食
6. 塩の川第6砂防ダム工事現場見学
7. 松川庁舎にて解散



地蔵原えん堤



荒川の水質も調べました！松川とはどう違う？



土湯温泉町で



塩の川ではこんなに高い所まで登りました！



測量に挑戦！

身近なところにも砂防ダムが！

体験活動を終えて 信陵中学生から一言

- ・ 普段入れないところに入れてよかった！
- ・ 目に見えないところで生活が成り立っていると分かった！

中学生の皆さん、5日間お疲れ様でした。ありがとうございました！



お問い合わせはこちら
(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)
〒960-2156
福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)
〒960-2261
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207
HP <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

